

勤務医のあなたが開業医並みの収入を
得て富裕層に到達する方法！



はじめに

勤務医の皆様は、忙しい毎日を過ごされていると思います。私自身を振り返ってみても最初の10年間は、必死に自分の専門分野の知識習得に励んでいました。早く一人前になりたいという一心だったので、日々の生活のほとんどは仕事に費やしていました。

卒後7年ほどして少し生活に余裕が出てきた頃、ふと冷静になってみると自分が人生の岐路に立たされていることに気がきました。このまま勤務医を続けるのか、思い切って開業するのかが選択すべき時期に差し掛かっていたのです。

医師としての能力を最大限に発揮するには、病院の各種医療資源を使える勤務医の方が適していますが、金銭面の優位性では開業医に分があります。親がクリニックや病院を経営している方以外は、どちらを選択するか誰もが悩むのではないのでしょうか。

私も例に漏れず悩みましたが、ふと両者のメリットを得ることができれば問題が解決するのではないかと考えるようになりました。つまり、勤務医を続けることで医師としての能力を発揮しつつ、金銭面では開業医並みの収入を得る仕組みを構築するのです。

当初はそんなおいしい話があるわけ無いと思いました。しかし冷静になって周囲を観察すると、少数ですが意外とこれに該当する医師が存在することに気がきました。おそるおそる尋ねてみると、意外にもほとんどの方は喜んで私にノウハウを教えてくださいました。

そのような何名かのメンターから教えを乞うことで、卒後8年目には勤務医として医師のキャリアを続ける決意ができました。そして良質な医療を提供するためにも、その基盤となる経済的安定の構築に注力することになったのです。

メンターの教えを受けてから周囲の同僚医師を見ると、改めて感じるがありました。診療を第一に考えるあまりに自らの生活が破綻したり、人生を謳歌していない人が多いなど・・・。激務に追われて気が付けば、夜がふけていることも多々あるでしょう。

皆様もご存知のとおり、勤務医はかなり大変な仕事です。世間一般で報道されている勤務医の大変さとは少し違うニュアンスを感じますが、肉体時にも精神的にもハードワークであることは間違いありません。

そんな多忙な毎日ですから、当然お金のことなどじっくり考える余裕も無さそうです。しかし、本当にそのままでいいのでしょうか？勤務医は一般的な水準よりは高い給与ですが、意外なほど経済的に不安定です。

病気になったら収入が激減しますし、医局に属している場合は、2～3年周期で病院のローテーションをするため退職金も多くは望めません。また、一見多く見える給与も、調整手当で割り増しされているだけで、基本給は一般職員と同じことが多いです。

つまり、仮に一生勤め上げても退職金はそれほど多く望めないのです。勤務医はそこそこ収入があるので一見安定しているように感じますが、一歩足を踏み外せば経済的苦境に立たされます。

このことはあなたもうすうす感じているので、常に漠然とした不安があるのだと思います。やはり、良質な医療を提供するためには医師自身が精神的に充足している方がよいし、その基盤となるのは経済的な安定だと思います。

メンターによる教えの結果、単なる病院勤務医であるにも関わらず、約10年で経済的自由を獲得した方法を個人的に紹介させていただいたところ、ノウハウを教えて欲しいというたくさんのお声をいただきました。

その熱意に押されて、このマニュアルを作成しました。将来に対する漠然とした不安を、経済的なことに関しては少しでも解決できるように、私の学んだノウハウを公開したいと思います。

第1章から第4章までは勤務医が資産形成する上での総論となります。各章で詳述する内容を理解した上で、明日からでもすぐに実践していただきたいと思います。スタートが早ければ早いほど有利です。

第5～7章は資産運用の各論ですが、すぐに全てを理解する必要はありません。何故なら、これらの投資対象に**チャンスの窓が開くことは多くても数年に一度程度しかない**ためです。そして第8章はまとめになりますので、必ず目を通すようにしてください。

毎月のキャッシュを生む本物の資産を相当な安値で拾い集めるためには、相応の時期を待つ必要があります。また、本当に安値なのかを目利きする確かな判断力も必要なのですが、これには比較的長期間にわたって相場を観察して経験を積む必要があるのです。

まず、第1章から第3章までを完全に理解して実践するだけでも、経済的状況はかなり改善すると思います。リスクを全く取りたくない方や面倒なことを一切したくない方は、この部分のみを実践し続けることも選択肢のひとつです。

あなたも、このマニュアルを読んで、経済的に磐石な基盤を築いてください。そして、経済的自由を獲得したあかつきには、あなたのもつ高度な医療技術で社会貢献してください。常に安定した経済状態で社会貢献し続けるように一緒にがんばりましょう！

平成27年1月
自由気ままな整形外科医

目次

- ・ 自己紹介

- ・ 第1章 まずは現状確認してみましょう！・・・10
 - 1.1 勤務医の現実を数字で理解する
 - 1.2 開業医の現実を数字で理解する
 - 1.3 富裕層とは？
 - 1.4 まずは収入、支出を把握しましょう
 - 1.5 だれが、どのようにして家計管理をしているのか？
 - 1.6 手持ち資産をエクセルで整理してみましょう
 - 1.7 重要なのは毎月のお金の流れ（キャッシュフロー）です
 - 1.8 キャッシュフロー表の実例

- ・ 第2章 タネ銭を貯めましょう・・・27
 - 2.1 元手が無ければ始まりません
 - 2.2 さあ、タネ銭を貯めましょう！
 - 2.3 タネ銭の貯め方1 ～給料天引き～
 - 2.4 タネ銭の貯め方2 ～働き方を考える～
 - 2.5 タネ銭の貯め方3 ～アルバイト基本講座～
 - 2.6 タネ銭の貯め方4 ～大きな出費を見直す～
 - 2.7 タネ銭の貯め方5 ～節約術～
 - 2.8 固定費削減のススメ

- ・ 第3章 税制を知る・・・47
 - 3.1 税制を知ること、下手な運用より10倍効果あります
 - 3.2 税制を知るには確定申告書を目に焼き付けることが早道
 - 3.3 損益通算について
 - 3.4 ではどうやって節税するのか？
 - 3.5 築古の木造住宅を用いた節税方法 その1
 - 3.6 築古の木造住宅を用いた節税方法 その2

- 3.7 築古の木造住宅を用いた節税方法 その3
- 3.8 築古の木造住宅を用いた節税方法 私の実例
- 3.9 ふるさと納税

- 第4章 いよいよ運用です・・・69
 - 4.1 資産形成の戦略
 - 4.2 まずは金融資産1億円が目標です
 - 4.3 資産運用の種類
 - 4.4 最強の資産運用ツールとは？
 - 4.5 勤務医に最もお勧めな資産形成手法
 - 4.6 リスクの取り方

- 第5章 日本株式・・・82
 - 5.1 戦略
 - 5.2 暴落時の資金確保方法
 - 5.3 日本株式
 - 5.4 E T F ・ R E I T
 - 5.5 J-R E I T 投資体験記

- 第6章 不動産・・・94
 - 6.1 私のケース
 - 6.2 なぜ、不動産なのか
 - 6.3 不動産投資の始め方
 - 6.4 不動産投資のポイント
 - 6.5 区分所有
 - 6.6 貸家
 - 6.7 1棟マンション・アパート
 - 6.8 収益マイホーム
 - 6.9 賃貸物件の管理業務
 - 6.10 銀行融資

・ 第7章 外貨・・・118

- 7.1 外貨を持つ意味
- 7.2 MMF
- 7.3 FX
- 7.4 海外銀行口座
- 7.5 海外株式
- 7.6 海外REIT
- 7.7 国内で行う日本円暴落対策

・ 第8章 経済的自由に到達した後・・・132

- 8.1 リタイアを考える
- 8.2 リタイアに際しての問題点
- 8.3 リタイアを目的とした資産組み替え
- 8.4 年金と保険の最適解
- 8.5 配偶者の教育

・ 第9章 おわりに・・・143

付録： 銀行融資の実際・・・147

免責事項・・・157

使用許諾契約書・・・157